

## 第4回 自由が丘街づくり連絡調整会を開催しました！

(令和3(2021)年12月17日(金) 10:00~11:30 於 緑が丘文化会館 当日参加者25名)

自由が丘での街づくりの動きを幅広く知っていただくことを目的に、当ニュースを発行しております。

### 本会の趣旨

自由が丘には、町会や商店会といった団体のほか、地域の皆様で構成された**多様な組織が街づくりに取り組んでいる**ことから、**各々の街づくりの動きを共有し、互いに調整・連携**することを通して、より魅力的な自由が丘にしていくことを目指し、目黒区主催で『自由が丘街づくり連絡調整会』を開催してきています。

4回目となる今回の自由が丘街づくり連絡調整会は、19団体、合計25名の方にご出席いただきました。第1回以来の一堂に会する開催となり、現在策定を目指している『未来ビジョン』に関する意見交換だけでなく、ご出席いただいた各団体から各々の活動・検討状況を共有していただきました。

### 各街づくり活動団体の取組について

#### 《各街づくり活動団体からの近況報告》

- サンセットエリアでは、周辺の再開発等を踏まえつつ、自由が丘らしい街づくりを目指した勉強会を進めている。
- ひかり街では、区の支援により、自由が丘デパート、サンキ会とともに、建物再生に関する勉強会を進めている。
- 自由が丘駅前地区は、令和2年11月に再開発準備会を設立し、勉強会等を進めてきた。現在は、準備組合設立を目指し、準備会への参加促進活動を行っている。
- 自由が丘東地区は、平成31年4月に市街地再開発準備組合を設立し、事業決定に向けて検討を進めている。
- 自由が丘1-29地区は、令和3年7月に市街地再開発組合設立申請を行った。(本会にて事業概要を説明。)
- 自由が丘駅前西及び北地区は、自由が丘における駐車場のあり方などの検討を進めている。
- 駅中央会は、都市計画道路補助127号線の拡幅及び回遊性のあるまちづくりの検討を進めていきたい。



当日の様子

### 未来ビジョンの基本方針に対する主なご意見（第3回街づくり連絡調整会后実施ヒアリング結果）

#### 《街並み・都市機能等について》

- 自由が丘の商業が衰退しつつある中で、都市間競争に勝つためには、一定程度の機能更新は必要。
- 低層路面商業における個性的な店舗が“自由が丘らしさ”であり、今後の街づくりにおいても継承してほしい。
- 多様なニーズに併せた価値や機能を誘導する一方で、現在の居住者への配慮も必要。

#### 《交通について》

- 現在の自由が丘の歩行者空間は狭いため、まちの奥まで人が訪れるような歩行空間の再整備が必要。

#### 《みどりについて》

- 緑の拡充や、子供の健全な育成環境としての公園等が必要。

#### 《防災について》

- 災害時の対策（一時避難場所・電線地中化・緊急車両の通行動線の確保、治水対策等）が必要。
- 防災対策等まちのためになることについては、官民の負担をバランスさせることが必要。

#### 《エリアマネジメントについて》

- 新旧住民の融和やエリアマネジメントについての検討が必要。

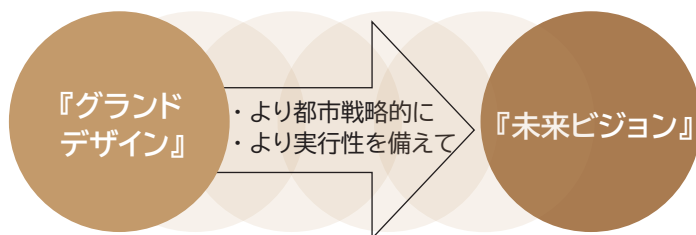
# 『自由が丘未来ビジョン』の策定に向けて

## 《策定の基本的な考え方》

- 1) 都市再生推進法人（株）ジェイスピリットが策定した『自由が丘駅周辺地区グランドデザイン』を基調としつつ、`都市戦略の観点に基づく将来イメージの打ち出し、`実行性を備えた施策・計画の実現化整理、を行う。
- 2) 時間目標をおよそ30年後の2050年と定めることにより、短期的視点とともに、不確実な中長期の将来に向けたまちとしての確固たる信念と柔軟な発想を備えた行動計画書としていく。
- 3) あらためて〈現状認識と課題整理〉〈街づくりの目標と取組み分野〉〈取組みプログラム／プロジェクト〉について一貫したシナリオとして整理していく。
- 4) 時間経過の中で、手に取る関係者の誰もが、意図を端的に理解できるよう、平易な言葉と視覚的な素材を用いて表現していくこととする。

構想方針書としての内容

実行計画書としての内容



- 一貫したシナリオとして
- 誰にでも分かりやすく

『未来ビジョン』の目標年次は『グランドデザイン』と同じく2050年までの30年間

## 《内容のイメージ（現時点で仮想定するコンテンツ）》

### （1）現状認識と課題整理 [2021 年度の検討範囲（予定）]

【現状認識】①ポテンシャル、②ターゲット、③防災性、④交通、⑤都市構造、⑥都市デザイン、⑦まちづくりに影響する社会経済要素

【課題整理】現状認識①～⑦を統合化して短・中・長期別の課題を整理する。

### （2）まちづくりの目標と取組分野 [2021 年度の検討範囲（予定）]

- 課題整理に基づきつつ、30年後にも的を外れない目標と取組み分野について検討を行う。
- 『グランドデザイン』の将来像を発展的に踏襲しつつ、中長期的にも劣化しづらいマ～ミライの価値観を適切に見極め、取組み分野に反映していく。

### （3）取組みプログラム／プロジェクト（目的・効果・体制・手法・スケジュール） [2022 年度の検討範囲（予定）]

- 取組み分野に沿って具体的なプログラム／プロジェクトを整理する。
- それぞれのプログラム／プロジェクトごとに、その目的・期待する効果・実施体制・実施手法・スケジュールをシート化していく。

## 《今回いただいた主なご意見》

- 『自由が丘未来ビジョン』の中で地域コミュニティについても触れてほしい。
- エリアプラットフォームの担い手・運用についても併行して検討することが必要。

## 今後のスケジュール

	2021 年度 (R3 年度)						2022 年度 (R4 年度)						2023 年度 (R5 年度)
	8	9	10	11	12	1	2	3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～
街づくり連絡調整会 開催スケジュール	第3回				今回 第4回		第5回		第6回	第7回	第8回	第9回	
	個別ヒアリング									シンポジウム 実地調査			エリアプラット フォームへ発展継承

《問い合わせ先》 目黒区 街づくり推進部 地区整備課 地区整備係 担当：増田、大谷内、柏木、平松

TEL 03-5722-9430 FAX 03-5722-9239 E-MAIL [jiyuugaoka-kai@city.meguro.tokyo.jp](mailto:jiyuugaoka-kai@city.meguro.tokyo.jp)

URL <https://www.city.meguro.tokyo.jp/kurashi/sumai/katsudo/jiyuugaokaeki/jiyuugaokamatidukuri.html>

